

ペてかり

日高南部森林管理署



井寒台憩いの森づくり森林教室

10月19日、井寒台森林公園にて浦河町立堺町小学校の3年生61名を対象に森林教室を行いました。

子供たちの中にはミミズを見て驚く子もいれば、「あれはサワシバ。あつちのはアオダモで帯広にも生えてるんだよ。」と、木々の見分けが付いている子もいて、驚かされました。

労働災害の未然防止について

秋から冬に向けて

労働災害の防止については、人命尊重を基本理念として、労働災害の撲滅を重点目標に、安全管理体制の活性化、基本動作の徹底を図るなど、労働災害の未然防止に努めているところで

す。
さて、これからの時期は、10月1日から一般鳥獣及びエゾシカの狩猟が解禁となり、蛍光ベストの着用等誤射防止対策の徹底とともに、一般道はもとより、林道等においても道路状況が日々変化することから、路面状況の確かな把握とそれに応じた安全運転の励行、さらには朝晩の冷え込みが段々と厳しくなり、朝晩と日中の寒暖の差も大きくなることから、日頃の体調管理も重要となってきます。

また、北海道における秋季の

事故原因をみると、秋季は日没時間が早くなるとともに、雨天の日が多くなり、濡れた路面を走行するケースが増えるようになり、特に、夕方から夜間は見通しが悪くなり、歩行者や自転車の見落としや発見の遅れにつながるため、例年、この時期は歩行者や自転車利用者の事故が増加します。さらに、農産物等輸送繁忙期に当たるため、郊外や幹線道路ではトラックなど大型輸送車両の走行が増加し、これに伴う事故の発生が危惧されます。

このような状況から、①森林踏査等各種業務においては、森林官等の単独行動の排除に努めるとともに、歩行時は足元及び周囲の状況を確認して、滑りや転倒に注意すること。特に、転

石等のある険しい地形では、路面の安定した経路を選び、足元に十分な注意を払い慎重な行動に努めるとともに、笹・小柴などによる跳ね返りや目突きにも十分注意すること。②10月1日から狩猟が始まり、今年度はエゾシカの狩猟も1日から解禁となっており、蛍光ベスト等の着用、注意標識の設置や車両への作業中の注意看板の掲示等により、猟銃による誤射防止に万全を期すこと。③林道等では各種工事等の関係車両はもとより、狩猟等の一般車両も多くなり、カーブ等での出会い頭の事故も懸念されることから、最徐行での走行に努めるとともに、公私を問わずスピードダウンやライトの早め点灯、「くかもしれない運転」を心掛け、交通災害の

未然防止に努めること。④朝夕のミーティング等を活用し、各人の健康状態を把握するとともに、手洗い・うがいの励行等による風邪の予防と、自己の健康管理にも十分留意すること。また、日頃から仲間の言動等に留意するとともに、不安や悩み事などが気軽に相談できるように明るい職場づくりを心掛けること。

これから冬期に向け、作業環境が一層厳しくなりますが、職員一人ひとりが同じ気持ち・認識を持って、職員の健康管理はもとより、労働災害の絶無に向け、気持ちも新たに署・現場一体となって、各種安全対策を実践し、「安全で災害のない明るい職場」を目指し全員で取り組みましょう。

【次長】

労働衛生週間 衛生講話

十月一日から平成二十三年度国有林野事業労働衛生週間が始まり、当署では、十月三日に次の二つの講話を実施しました。



最初に、札幌カウンセリングセンターの臨床心理士の豊島氏からの『心の健康づくりについて』の講演では、「健康な体に健康な心が宿る。」と言われ、今までは必ずしもキウは言えない。うつ病を生活習慣病とする動きもあり、心の検診が重要になっている。部下や同僚のイネローサインを見逃さないように、信頼関係等の「社会的な健康度を高める」という視点が大事とのことでした。



次に、静内地域保健室の主任保健師の塩川氏からの『感染症の予防について』の講演では、結核は風邪のような症状が長引き、インフルエンザは突然の高熱や咳、ノロウイルスは吐き気や腹痛の症状が出る。いずれも、予防対策の基本は、手洗い、うがい、マスク。特に、手洗いは、せっけんと流水で15秒以上、指先や指の間などの洗い残さないようにすることが大事とのことでした。また、今年はマイコプラズマ肺炎が流行しているとか・・・。咳や微熱が続く場合は、迷わず受診しましょう。

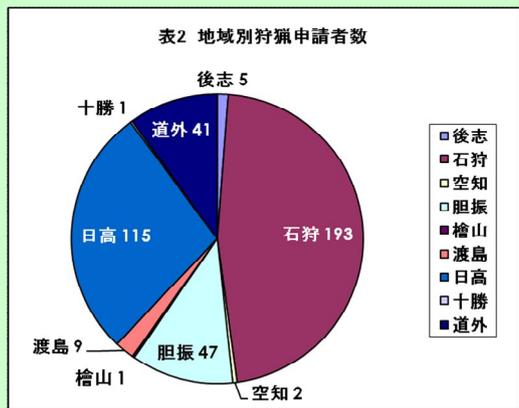
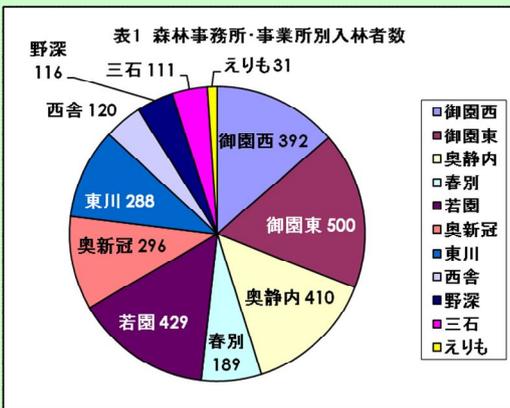
【総務課長】

平成23年度入林者情報

今年度の入林者は、10月18日現在で150件（狩猟入林含む）の申請があり、計1,587名の方が当署管内に入林しています。

また、今年度から登山道に通じる林道については開放しているため、入林申請の必要が無く件数及び人数については把握出来ませんでした。多くの問合せ等あったことから、昨年同様多くの方が登山のため入林されたことと推察されます。

請負及び一般入林の状況、は申請件数51件で、入林者1,173



請負及び一般入林の状況、は申請件数51件で、入林者1,173名となっており、森林事務所・事業所別入林者数は表1のとおりで、北電のダム及び発電所等施設の所在する部内への入林が多い傾向となっています。また、狩猟入林の状況は、申請件数99件で入林者411名となっており、地域別狩猟申請者数は表2のとおりとなっています。

今後も、多数の入林者が想定されますので、スピードダウン・ライト点灯などの防衛運転により、事故防止に努めましょう。

【管理係長】

井寒台憩いの森づくり森林教室

10月19日、井寒台森林公園にて浦河町立堺町小学校の3年生61名を対象に手に森林教室を行いました。

当日は、日高南部署署長と浦河町教育長の挨拶に始まり、その後4つの班を二つに分けて、職員引率の下、木々の説明をしながら遊歩道を散策しました。

今年は、ドングリや他の木々の種・キノコ等の子供たちにとって分かりや



すいものが不作であったので、興味を持つてくれるか不安ではありましたが、普段自然に触れる機会がないためか、興味を示してくれました。

子供たちの中にはミミズを見て驚く子もいれば「あれはサワシバ。あつちのはアオダモで帯広にも生えてるんだよ。」と、木々の見分けが付いている子もいて、驚かされました。

後半は時間が押ししてしまい、早足となつてはしまいましたが、普段経験することのない自然散策は、子供たちにとってよい思い出になったと思います。

【東理泰範】

狩猟解禁(10月1日～)

今年度も狩猟が解禁となりました。狩猟期間はエゾシカ・一般狩猟とも10月1日からのスタートとなり、終期についてはエゾシカ以外は1月31日、エゾシカについては、新ひだか町を除く浦河・新冠町については3月25日、新ひだか町については2月29日までとなっています。



今年の解禁は昨年より二週間程度早まっており、まだまだ事業が盛んに実施されている状況であり、木の葉が落ちる前の見通しの悪い中での解禁であることから、解禁日前の9月22日には関係する猟友会の代表等に集ってもらい、当署の安全対策と入林手続きの説明会を開催し、矢先の確認については細心の注意を払い、事故の無い狩猟を要請しています。

平成22年度のエゾシカ狩猟では、厚真町において林業作業者が猟銃で撃たれ死亡するという事故が発生していることから、狩猟期間中に当署の国有林で事業実行をする事業体には、視認性の高い服装で作業をすることにより事故の未然防止を図ると共に、作業実施箇所周辺に「作業中」等の立て看板の設置を要請しています。

今年度の狩猟入林手続の昨年度の違いは、①ゲートの鍵の貸し出しではなく、ゲートの錠前をダイヤル錠に変更したことから、ナンバーを狩猟者に教える方式に変更したこと、②禁止区域と期間を明示した図面をカラー版に変更したことです。

10月1日の解禁日には、静内警察署と合同で狩猟マナー向上の啓発を兼ねた合同パトロールを実施しましたが、狩猟期間が無事に終了するよう今年度もパトロールを実施しますので、職員の方々のご協力をお願いします。

【業務第一課長】



現場だより

若園・奥新冠森林事務所

森林官 土田良己

一日ごとに表情を変える紅葉の季節も終わりに近づき、朝晩の寒さが徐々に身にしみるようになってまいりました。

当森林事務所内では、10月上旬にイドンナップ岳頂上付近に冠雪を確認しており、現在は、冬の気配に追われるように、来年度の造林事業予定地調査を進めているところです。

今年度は、作業箇所への移動中に、春の林道上では休憩する子鹿、秋の沢では遡上する鮭など、季節ごとに様々な動植物との思わぬ出会いがあり、現場の醍醐味を感じています。



林道で休憩する子鹿



遡上する鮭

アイラルベツ沢
(みやま大橋より) ↓



↑新冠湖風景林
(新冠ダム堤より)



先日、かつて勤務していた御園西森林事務所の、当時は下刈を実施していたと記憶しているトドマツ人工林の間伐調査に従事する機会がありました。植栽木の成長により景色が一変しており、納得すると同時に呆然としてしまいました。また、当時に比べ技術面ではGPSやGISの導入など、時代の変化と進歩には隔世の感があります。

その一方、16年ぶりの森林事務所勤務に当たり、あらゆる場面で体力の衰えを痛感しますので、これからは、寒さに向けた健康管理と冬期の作業環境に対応した安全対策を徹底しながら業務を進めていきたいと思っています。

新ひだか町営林友の会 山を観る会

10月11日、新ひだか町営林友の会の、秋の恒例行事である「山を観る会」が御園東森林事務所部内の114林班で、会員39名が参加して行われました。

前日からの雨もあがり、澄み切った青空の中、静内ダム周辺の紅葉狩りを楽しみながら現地へ向かいました。

井上会長・上平署長の挨拶、注意事項等の後、ヘルメットに腰鋸で枝打ち作業へいざ出陣。約1ヘクタールのトドマツ人工林の林内は、ものの30分程で見違えるほどスッキリとなりました。

枝打ちの後には、山の恵み（キノコやブドウ、マタタビにコクワ等）を求め森林散策。昨年多少の収穫のあった8林班へ移動したものの、キノコやブドウなどは殆ど採れず、予定時間より早めの昼食会場（会員の大川さんの山小屋）への移動となりました。

昼食懇談会は、天政さん特製の幕の内弁当とキノコ汁で、本日の反省会をしつつ、秋の一日を満喫しました。

【流域管理調整官】



浦河林活議連・国有林・野田町有林視察



9月29日、毎年実施している森林・林業・林産業活性化浦河町議会議連の国有林・民有林視察が、小原会長外11名、浦河町職員及び上平署長外8名が参加して、西舎森林事務所管内の国有林と杵臼地区町有林で行われました。3007林班の国有林と杵臼地区町有林では、平成18年度に発生した、低気圧による風倒被害地のその後の復旧状況を視察しました。

また、国有林では、3056林班のカラマツ人工林で高性能林業機械（ハーベスター）を使用した保育間伐現場を視察しました。伐倒、枝払い、玉切り、集積の一連の作業が一台でできる高性能機械を見て、「素晴らしい」、「凄い」と感動する参加者も、また、「購入価格」や「重機が山には入ること」で山が壊れるのでは」などの質問が多く出され、現地での意見交換も積極的に行われた。視察を終えた一行は、会場を優勝ピレッジ「アエル」に変えての懇親会の中でも、森林・林業の現状把握に向けた現場視察について、今後も継続していくことを確認し、散会となりました。

【流域管理調整官】

年輪クラブ 今年の活動終了

晴天に恵まれた10月13日、御園東森林事務所管内の144・145林班で、体験林業年輪クラブ（代表 野表治夫）の今年最後の活動である「枝打ち作業」が行われました。

4月29日の出陣式から、月例会と称し、毎月、高見ダム採石跡地の枝打ちや苦小牧市樽前山麓の国有林での下刈など森林づくり活動を行ってきました。

この日の高見湖畔は、鮮やかな紅葉に包まれて絶好の「紅葉狩り日和」。当日参加した7名は、高見ダム採石跡地に造成されたトドマツ・エゾマツ人工林の枝打ちに汗をかきながら、休憩タイムには「紅葉狩り」で目を保養しながら元気を取り戻し、再び枝打ちを行っていました。



4.29 出陣式



6.30 樽前山麓下刈り



9.15 枝打ち



10.13 スッキリした林内をバックに

作業を終了した一行は、湖畔の高見部落記念碑の前へ移動し、昼食をとりながら、昔話に花を咲かせていました。当会は森林ボランティアの草分け的存在であり、地球温暖化現象が顕著に現れている昨今、人生の先人・先輩である会員の活動をおし、我々に勇気と共に、森林に対する姿勢を教授してくれる体験林業年輪クラブが、より発展と継続するよう願っています。

【流域管理調整官】

えりも高校生 枝落としの挑戦！

9月26日(月)、えりも岬国有林内において、えりも高校の生徒38名がクロマツの枝落とし作業を行いました。これは、えりも地区連携型中高一貫教育の一つとして行われたもので、えりも町役場、教育委員会、ひだか南森林組合と連携して、平成18年から行っています。

当日は青空が広がる秋晴れで、最高のイベント日和となりました。まず、林業総合センターで開会式を行い、上平署長から挨拶がありました。



カミネツコン
えりも



頑張って枝落とし！

その後、生徒達が中学2年生の時に植えたカミネツコンの様子を見に行きました。植えた場所を忘れていたり、なかなか探すのに苦労していました。やつと見つけた苗木も、エゾシカの被害などで枯れてしまっているものがあり、残念に感じながらも自然の厳しさを学んでいます。そして、作業場所の国有林内に移動し、枝落としのやり方とノコギリを使う時の注意点を説明しました。

初めてノコギリを持った生徒も多く、最初は「触るのも怖い！」と言いながら恐る恐るノコギリを扱っていました。慣れてくると「楽しい！」と言いながら夢中になって作業をしていました。

最後に生徒代表から、「今後もえりもの森づくりに携わっていきたいと思います。」という嬉しい挨拶があり、地元の森林を通して、自然の大切さをたくさん学んでほしいと思います。

JICA (集団研修) 「森林保全コース」

9月12日、JICAによる集団研修の「地域住民の参加による多様な森林保全」コースで、アルメニア・ブルキナフアソなど8カ国から14名の研修生が、えりも岬国有林を訪れました。

午前中は、えりも町林業総合センターにて、ビデオ「夢は砂漠化しない(英語版)」を視聴後、第一展望台から50年生クロマツの「枝落とし・本数調整伐」実施箇所と、えりも地区連携型中高一貫教育によるカミネツコン植栽箇所を視察。クロマツ造林地では、「郷土樹木を植栽することが、最善の策である。」と強く述べる研修生がいたり、カミネツコンに対する興味の高さを見ると、研修生の研修に対する意欲の高さが伺えます。

百人浜の管理塔からは、えりも岬の緑化事業地や広大な太平洋が見渡せ、海を見たことがない研修生もいたことから、大きな歓声があがっていました。



午後からは、えりも町長・えりも町役場職員・ひだか南森林組合・えりも漁業協同組合を交えた「地域住民との対話集会」が開催されました。

研修生は、各国の農業・林業・環境保全に関わる公務員等で構成されており、えりも岬の緑化事業に係わる事から、国有林野事業や漁業に関する事など様々な質問等が出され、活発な対話集会となりました。特に緑化事業に関しては、自国の状況と比較した質問が出されて、えりも岬の緑化事業が多く地域住民に支えられていた事に感服した様子でした。

最後にこちらから、森林・林業等について、子供達にどのような教育が行われているか伺ったところ、各国とも小学校等の教育カリキュラムに環境科学として取り入れ、次代を担う世代を育成しているとのことでした。

【治山課長】

Happy Wedding



この度、御園西森林事務所所員「小針敏和」君と「中野志穂」さんが、平成23年10月1日にめでたく入籍いたしました。二人は約一年の交際の後、結婚を決意したようです。これから二人仲良く、明るい家庭を築いていけるよう公私共に頑張ってください。

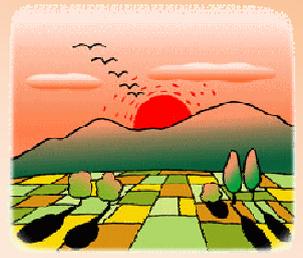
【石黒雅人】

八月～十月行事結果

【8月】	【9月】	【10月】
1日～31日 ゼロ炎月間	1日～30日 有林野事業労働衛生週間「準備期間」	1日～7日 国有林野事業労働衛生週間「本週間」
1日 産業医現場巡視（静内地区）	1日 新冠町開町130年・町制50年記念式典	1日 狩猟合同パトロール（静内警察署）
3日 間伐事業における民間競争入札現地説明会	1日 新計画制度に向けた推進調整会議（第三回）	2日 エリも町「海と山の幸フェスティバル」
5日 新ひだか町防災会議	2日 第二回「環境教育 百人浜に学ぶ」関係事業所会議	2日 エリも岬緑化研究会総会
8日 安全点検（静内・東川地区）	3日 新ひだか町宮林友の会「役員会」	3日 エリも岬緑化研究会現地検討会
10日 「北海道水資源の保全に関する条例」（仮称）に係る地域との意見交換会	4日 札内沢支流災害復旧工事請負入札	4日 衛生講話及び綱紀保持周知
11日 総括安全衛生管理者現場巡視（浦河地区）	5日 日高地方山岳遭難防止対策協議会定期総会	5日 総括安全衛生管理者現場巡視（静内地区）
12日 第一回浦河町森林整備計画作成全体会議	6日 安全衛生委員会	6日 職場内研修「森林作業道等研修」
12日 安全点検（浦河地区）	7日 新ひだか町宮林友の会「役員会」	6日 総括安全衛生管理者現場巡視（浦河地区）
18日 総括安全衛生管理者現場巡視（静内地区）	8日 安全点検（浦河地区）	11日 新ひだか町宮林友の会「山を観る会」
19日 主任安全管理者現場巡視（浦河地区）	9日 産業医現場巡視（浦河地区）	12日 狩猟巡視（静内地区）
22日 御園東地区その1保全整備（保育間伐）第2号請負入札	10日 国有林指示板設置業務請負入札	12日 東の沢林道元浦川線改良工事請負入札
23日 札内沢支流災害復旧工事請負入札	11日 安全点検（浦河地区）	13日 狩猟巡視（新冠地区）
26日 日高地方山岳遭難防止対策協議会定期総会	12日 JICA（集団研修）「森林保全」コース	14日 VDT点検（浦河地区）
30日 森林官等会議	13日 国有林指示板設置業務請負入札	14日 ピセナイ山登山大会
31日 日高流域森林・林業活性化協議会	14日 安全点検（静内・東川地区）	16日 （新ひだか町体育協会主催）
	15日 体験林業 年輪クラブ（枝払い作業）	18日 民間苗畑における育苗状況の勉強会
	16日 立木競争入札（局）	19日 「井寒台憩いの森林づくり事業」（堺町小学校森林教室）
	17日 運動機能検査	20日 安全点検（静内地区・浦河地区）
	18日 犬猫入林禁止区域及び狩猟手続きに係る説明会	21日 VDT点検（新冠地区）
	19日 VDT点検（浦河地区）	22日 静内消防団及び消防署合同秋季消防演習
	20日 安全点検（浦河地区）	23日 三石地区境界川払請負入札
	21日 安全衛生委員会	24日 安全衛生委員会
	22日 日高町連絡協議会	25日 若園地区保全整備（保育間伐）第3号請負入札
	23日 事務用品外物品購入入札	26日 事務用品外物品購入入札
	24日 森林官等会議	27日 一元的な文書管理システム操作説明会
	25日 一元的な文書管理システム操作説明会	
	26日 一元的な文書管理システム操作説明会	
	27日 一元的な文書管理システム操作説明会	
	28日 一元的な文書管理システム操作説明会	
	29日 一元的な文書管理システム操作説明会	
	30日 一元的な文書管理システム操作説明会	
	31日 一元的な文書管理システム操作説明会	

溪流

- ♪日に日に日没時間が早くなる季節です。特に薄暮時は安全作業安全運転で。
- ♪これから降雪期に入り、一日の気温差も拡大していきます。気温に応じた服装を心掛けましょう。
- ♪今年は熊が多数目撃されています。熊対策を万全にしましょう。
- ♪今年は10月1日から狩猟解禁です。オレンジ色のベストの完全着用を忘れずにしましょう。



【事務局】